

南丹市地球温暖化対策実行計画 平成20年度温室効果ガス排出量及び削減率

南丹市では市の全ての事務、事業を対象として、平成20年3月に南丹市地球温暖化対策実行計画を策定しました。計画では平成18年度を基準年度として平成24年度までに温室効果ガスの総排出量を4.4%削減することを目標としています。

	H20年度		H18年度(基準年) 排出量 (kg-CO2)	20年度 削減率	H24年度(目標年) 排出量 (kg-CO2)	目標 削減率
	排出量 (kg-CO2)	比率				
総務部	354,545	6.78%	318,787	-11.22%	296,472	7.00%
企画管理部	12,498	0.24%	9,566	-30.65%	8,896	7.00%
市営バス(燃料)	283,411	5.42%	287,506	1.42%	278,881	3.00%
市民部	18,430	0.35%	12,387	-48.79%	11,520	7.00%
福祉部	235,800	4.51%	246,877	4.49%	229,596	7.00%
農林商工部	618	0.01%	2,387	74.11%	2,220	7.00%
土木建築部	16,775	0.32%	15,467	-8.46%	14,384	7.00%
上下水道部	30,682	0.59%	41,596	26.24%	38,684	7.00%
上水道(電気)	1,352,100	25.86%	1,241,862	-8.88%	1,204,606	3.00%
下水道(電気)	803,857	15.38%	772,813	-4.02%	794,838	-2.85%
八木支所	213,985	4.09%	278,744	23.23%	259,232	7.00%
日吉支所	171,484	3.28%	184,575	7.09%	171,655	7.00%
美山支所	237,692	4.55%	227,300	-4.57%	211,389	7.00%
教育委員会	1,495,788	28.61%	1,615,031	7.38%	1,501,979	7.00%
合計	5,227,665	100%	5,254,898	0.52%	5,024,352	4.39%
合計(下水道除く)	4,423,808		4,482,085	1.30%	4,229,514	5.64%

※削減率の一(マイナス)は増加を意味します。

20年度は、美山宮島・大野地区農業集落排水処理施設の新設などで対象施設が増えたことやケーブルテレビが市全域に導入されたことが温室効果ガス排出量の増加につながる結果となっています。一方では事務室の蛍光灯を減らし、反射板を取り付けることで、電気使用量の削減を行い、またデマンド監視システムを導入し、常に電気使用量を管理するなどの取り組みを進めました。また給食配膳車にハイブリッドカーを導入しました。そのほか職員の日常業務の中でも室内温度の徹底管理、OA機器の電力管理、ゴミの分別、リサイクルなどに心がけています。

■実行計画の修正について

南丹市地球温暖化対策実行計画は平成20年3月に策定しましたが、計画策定後に基準年となる平成18年度の電気使用量の訂正、また対象施設の所管部局の異動及び関連する数値の訂正を行いました。

上記、平成20年度温室効果ガス排出量及び削減率の表では修正後の数値で示しています。
修正の詳しい内容については下記のとおりです。

数値修正の内容	排出量(kg-CO2)
八木東部文化センターが市民部から八木支所に所管異動	684
日吉興風交流センターが市民部から日吉支所に所管異動	6,334
八木保健センターが八木支所から福祉部に所管異動	7,914
日吉保健センターが日吉支所から福祉部に所管異動	34,106
下水道施設でバイオエコロジーセンター発電の電力使用分を除外	57,388
上水道施設で電気使用量の訂正	-231,401
教育委員会施設で電気使用量の訂正	3,981